

腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について

1 発 生 日

発生 令和5年7月2日(日) 速報 令和5年7月10日(月)

2 患 者 数

1名 (男、幼児)

3 概 要

(1)経 過

7月2日(日) 患者(岡山市)は、発熱、泥状便及び腹痛の症状を呈した。

7月3日(月) 患者は岡山市内医療機関(診療所)を受診。

7月7日(金) 検査の結果、腸管出血性大腸菌(O157)によるペロ毒素産生が確認されたため、岡山市保健所に届出。

(2)その他

- ・患者の症状は軽症化している。
- ・感染源は7月3日に広報連絡した腸管出血性大腸菌感染症患者からと推定される。
- ・現在のところ散発事例と考えている。

4 参 考(患者発生状況)

区 分	令和5年1月1日から
岡 山 市	21 人
県内(岡山市を除く。)	13 人
県 内 合 計	34 人

(岡山市の前年同時期の発生状況:4人)

◎報道に関しては、患者等のプライバシーの保護について、特段の配慮をお願いします。

◎岡山県は6月23日に県下全域に「腸管出血性大腸菌感染症注意報」を発令しています。

※ 腸管出血性大腸菌感染症を予防するために

手洗いの励行。(調理前、食事前、用便後)

十分な加熱。(75℃で1分間以上)

をお願いします。

【問い合わせ先】

岡山市 保健管理課 森・山本 直通086-803-1251 内線5751